

目次

日本文学科創設三十周年に寄せて	三田村 雅子 (1)
古い方言と新しい方言の問題「付注版」	安部 清哉 (4)
〈法語〉になつた夢窓疎石の和歌	西山 美香 (16)
——『夢窓国師百首』を中心として——	
『行人』再論	佐藤 裕子 (27)
「函車」論	安藤 公美 (39)
——意味の代行・一九二〇年代のことば——	
『蘆刈』論	石野 泉美 (53)
——思慕が織りなす記憶——	
八代集における形容詞対照語彙表	安部 清哉 (66)
——〈平安文学における形容詞 資料V〉——	
新聞用語の和語から漢語への変遷	武田 典子 (80)
——死亡表現と男女呼称表現を取り上げて——	
古代文学における女性	白井 麻子 (89)
源氏物語における手紙の位相	山田 史子 (98)
京極為兼の研究	加藤 優子 (109)
——佐渡配流期の詠歌を中心に——	

芥川龍之介「南京の基督」論	越智幸恵 (117)
谷崎潤一郎「卍(まんじ)」論	山下友美 (131)
——主体と視点・その同性愛——	
「ノルウェイの森」論	吉田朝子 (141)
日本文学科創設三十周年に寄せて	
フェリスの上代文学	糸川光樹 (147)
坂道を上ると	木村正中 (150)
学園雑感	佐藤道子 (153)
仲間という時間	横山由美子 (156)
楽しかったフェリス	森淳司 (158)
雑談あれこれ	柳沢孝子 (160)
講師の鉄人たち	東原伸明 (162)
フェリスの「民俗学」	高木史人 (164)
フェリスへの想い	小澤美智子 (166)
フェリス女学院大学の思い出	田口章子 (168)
Mゼミ落ちこぼれのその後	岡田亜子 (169)

フェリス女学院大学文学部日本文学科(旧 国文学科)沿革	171
フェリス女学院大学文学部日本文学科(旧 国文学科)歴代専任教員録	173
フェリス女学院大学国文学論叢目次	177
『玉藻』総目次(第一号〜第三十号)	180
一九九四年度修士論文・卒業論文題目	190
彙報	197
会則	199

現代語の「ゆれ」と変化に関する試験的アンケート調査から	日本語学ゼミ	24
——ナフキン・フィンキ・バンソコ・しっける・パンツ・短音表記化——		(左)

秋田県大館市における格助詞「トコ」の用法	原	友紀子	17
高知市における姓名のアクセント	西川	潤	1
——首都圏と比較して——			(左)

玉 藻 第三十一号

一九九六(平成八)年二月二六日 印刷
一九九六(平成八)年三月四日 発行

編集兼 フェリス女学院大学国文学会
発行人 代表者 三田村 雅 子

印刷所 ワセダ・ユー・ピー
〒169 東京都新宿区西早稲田一―一七
電話(〇三三)三三〇三―三三〇八

発行所 フェリス女学院大学国文学会
〒231 横浜市中区山手町三七